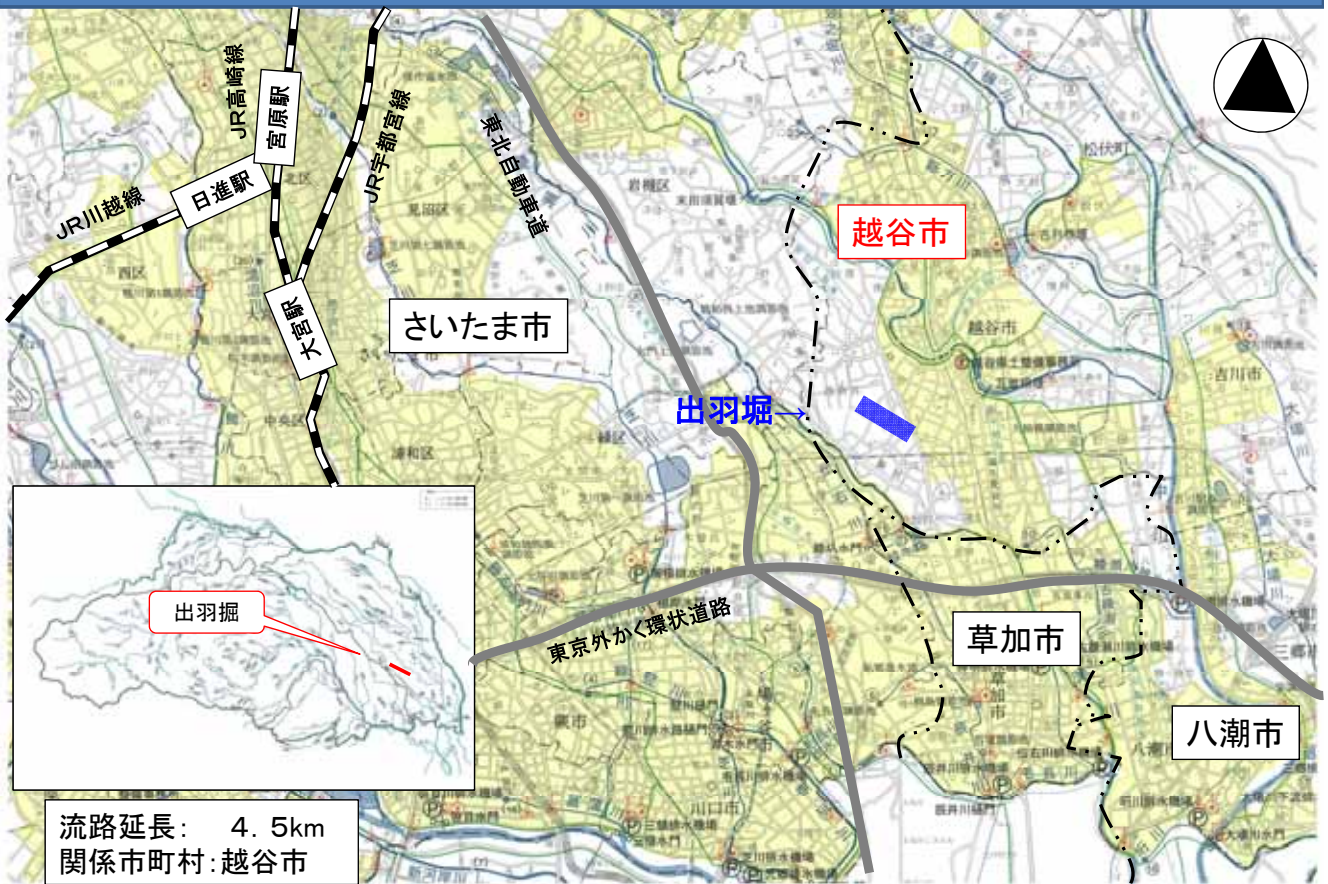


出羽堀の概要



越谷市

越谷市出羽地区。この名は將軍秀忠のころ、越ヶ谷領土豪会田出羽が綾瀬川流域の沼沢地を干拓した歴史に由来します。そして、このため開かれた水路が出羽堀です。以来、出羽堀は人々の暮らしを支えてきました。しかし、近年、混住化が進み、特に、冬期には用水が枯渇、水質の悪化が顕著になっています。地域のシンボル清流出羽堀の復活に取り組む事で、人々の環境への意識を高め、また、遊歩道等の整備により親水空間を創造します。

市町村域とまちづくり・川の関係(案内図)



まちづくり等の課題

- 冬、水源は家庭排水が主役となり、水質が悪化、水辺の生き物の命の輪廻が途切れてしまう。
- 水路に沿って通路はあるものの、遊歩道等の整備はなされていない。
- 経年により水路の通水能力が低下しており早急な整備が必要。

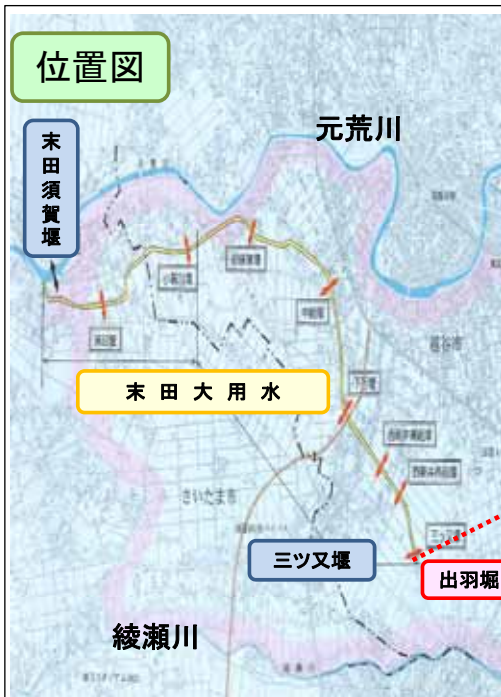
目標・テーマ

- 冬期通水による水源の確保
- 生き物にやさしい水路改修
- 親水遊歩道の整備
- 末田大用水遊歩道との連携
- 地域特産品「慈姑」や「太郎兵衛もち」を教材に、総合学習や学校農園を通し出羽堀の歴史を伝える。

県に実施してほしい取組

越谷市の出羽堀では、愛好者がドブガイやカラスガイを水路に撒きタナゴの繁殖に努めています。しかし、冬期には用水が流れず干上がり折角の苦労も川の泡。冬期通水や生き物にやさしい水路を整備することにより、地域のシンボル出羽堀を復活することができます。

位置図



実施してほしい取組の概要

- 冬期試験通水の実施
※慈姑田へ12月まで用水が送られる。1~4月間の水源確保
- 河川管理者、土地改良区等への働きかけと調整

工程表

	H24	H25	H26	H27
冬期試験通水	協議調整	試験的通水	試験的通水	試験的通水

越谷市では、「第2次川の再生事業」を活用し、平成24年から平成27年の4年間で水路・遊歩道等の整備事業や環境向上活動などソフト事業に取り組む、地域の歴史と環境の象徴「出羽堀」を活かした環境共生のまちづくりを進めていきます。



現在の様子



整備後のイメージ

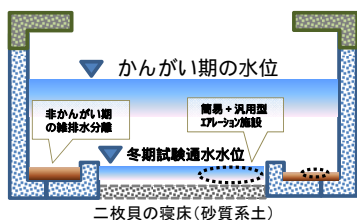
事業等の概要

- 魚等水辺の生き物が暮らしやすい水路に改修します。
- 水辺のオープンスペースを活かした遊歩道を整備します。
- 水質改善等、地域の環境向上活動に取り組みます。

工程表

	H24	H25	H26	H27
水路・遊歩道整備	調査・計画	0.4km	0.4km	0.4km
冬期通水施設整備	協議調整	施設整備	(試験通水)	(試験通水)

水路のポンチ絵

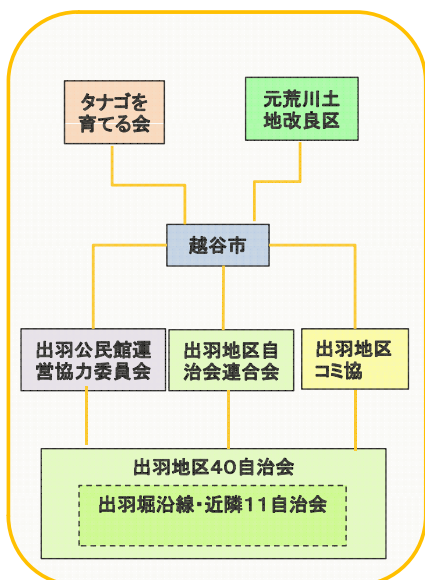


二枚貝の寝床(砂質系土)

地域連携・維持管理等の概要

整備計画は、地域のコミュニティーや協働活動に関わる団体、地元土地改良区、タナゴを育てている団体等と共に検討します。水質向上(家庭排水)のPRや汎用エアレーション施設・システムの整備・構築を行います。さらに、整備された出羽堀を基軸に地域と連携し、水質の向上、水路・遊歩道等の維持管理に努めます。

体制図



地域連携の概要

地域の特産慈姑の収穫体験



- 引続き水路の清掃・維持・排水対策等に取り組む団体と協働し、整備された水路・遊歩道の管理や環境活動を行います。
- 出羽堀(用水路)や越谷特産の農産物を育てる地域の田んぼを活用した学校農園や田んぼの学校をつじ食を学ぶと共に「ふるさと出羽」「ふるさと越谷」への思いを育てる。

取組全体のアピールポイント

- 越谷市では、出羽堀を歴史と環境の架け橋と考え、後世に伝える伝統・文化・環境の象徴として整備します。
- 出羽堀の水質浄化に取り組み、流域の綾瀬川への水質負荷を軽減します。



絵：手丸かこのこ

地区の特産 太郎兵衛もちです。400年の伝統があります。私も粘り強〜く応援します。